

取扱説明書

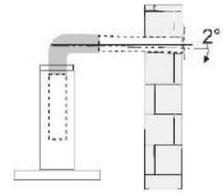
目次

正しくお取り扱いいただくために	3
仕様	5
施工	7
操作方法	16
メンテナンス	17

正しくお取り扱いいただくために

施行について

- ・メーカーは間違っただけあるいは不適切な施工及び使用方法に起因するあらゆる損傷や事故等の損害については一切責任を負いません。
- ・ガス調理器具との併用はしないでください。火災の原因となることがあります。
- ・国産調理器具との併用はしないでください。誤作動や事故の原因となることがあります。
- ・熱量の大きすぎる調理器具と併用しないでください。(最大：12.4kW)
- ・主電源の電圧がフード内部の表示板に示されている電圧に対応しているかを確認してください。
- ・アース線を使い確実にアース(接地)してください。
- ・直径150mmのダクトを使用し配管・接続を行ってください。その際、配管距離はできるだけ短くして下さい。
- ・燃焼により発生した煙を運搬する(ボイラー、暖炉等の)排気ダクトと接続しないでください。
- ・レンジフードを非電気器具(ガス燃焼器具など)と同じ室内でご使用になる場合、室内の十分な換気を確保してください。新鮮な空気を取り込むために台所には外気に直接通じる通気口をご用意ください。
- ・電源ケーブルが破損した場合はすぐに交換・修理をしてください。
- ・レンジフードを固定する際は付属のビスやパーツ以外を使用しないでください。正しく取付けがなされなかった場合、電気系統の障害や事故の原因となることがあります。



使用について

- ・このレンジフードはご家庭での使用のみを目的とし台所の煙やにおいを除去するために設計されました。
 - ・上記以外の目的でレンジフードを使用しないでください。
 - ・レンジフード近くに裸火を放置しないでください。
 - ・油を使用している調理をしている際は決して目を離さないでください。
 - ・火炎の上がる調理をしないでください。
 - ・このレンジフードは安全管理責任者によって使用監督、指導される必要があります。子供や身体的、五感的、精神的能力に欠けるまたは低下していると思われる人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
 - ・このレンジフードのそばで子供を遊ばせないでください。
 - ・清掃やメンテナンスを子供にさせないでください。
- ◇注意：レンジフードの部品は調理によって熱を持つことがあります。

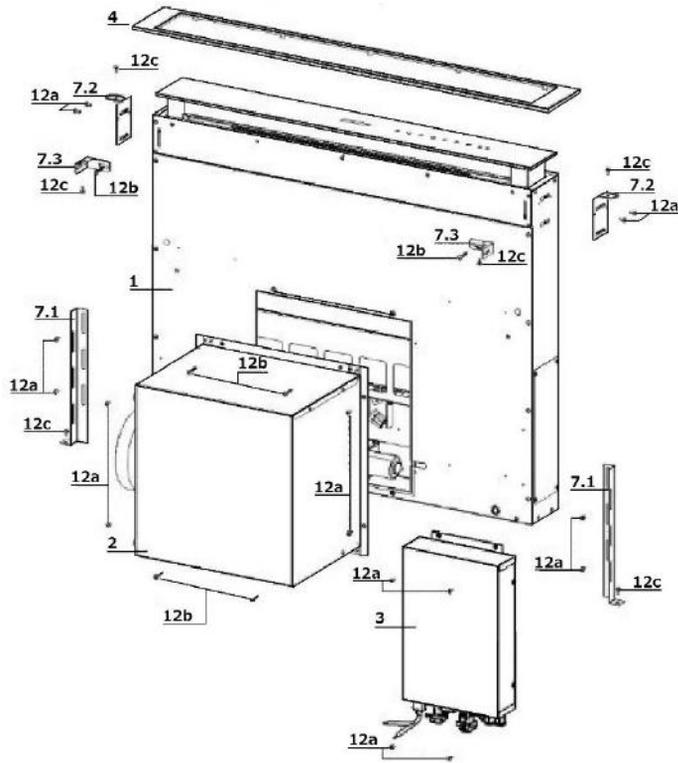


正しくお取り扱いいただくために

メンテナンスについて

- ・作業を始める前に主電源を切ってください。
- ・グリースフィルターは少なくとも2カ月ごとに清掃もしくは交換してください。ひどい汚れは火災の原因となることがあります。
- ・グリースフィルターは食器洗い機で洗うことができます。
◇注意：グリースフィルターを洗浄する際にアルカリ成分や苛性ソーダおよび苛性カリ等を含む洗剤を使用しないでください。フィルターが劣化する原因となります。
- ・レンジフードの清掃には湿った布と中性洗剤をご使用ください。
- ・レンジフードの廃棄処分については各地方自治体の取り決めに従ってください。

仕様

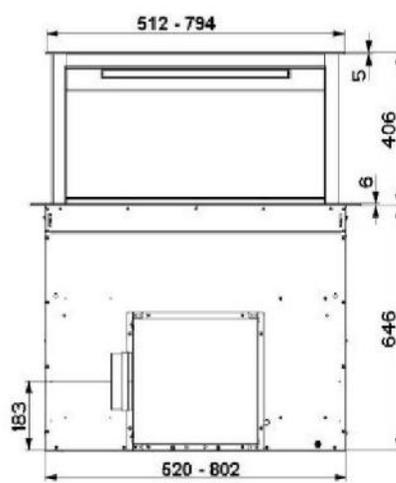
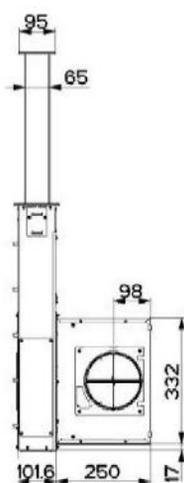
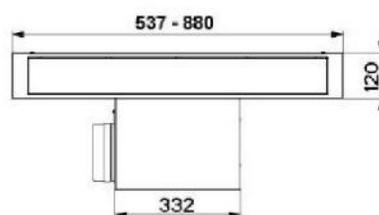
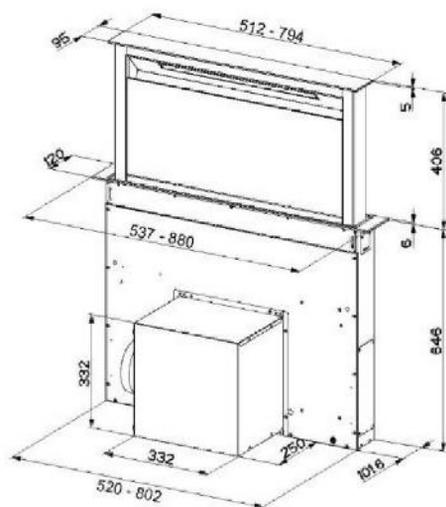


梱包内容

Ref.	Q'ty	Product Components
1	1	レンジフード本体(スイッチ・LEDランプ・グリースフィルター含む)
2	1	モーターユニット
3	1	電源基盤
4	1	ステンレス天板フレーム
Ref.	Q'ty	Installation Components
7.1	2	下部ブラケット
7.2	2	上部サイドブラケット
7.3	2	上部2次元ブラケット
12a	16	ビス 3.5x9.5
12b	6	ビス M4x8
12c	6	ビス 4x15
Q'ty	Documentation	
1	取扱説明書	

仕様

寸法



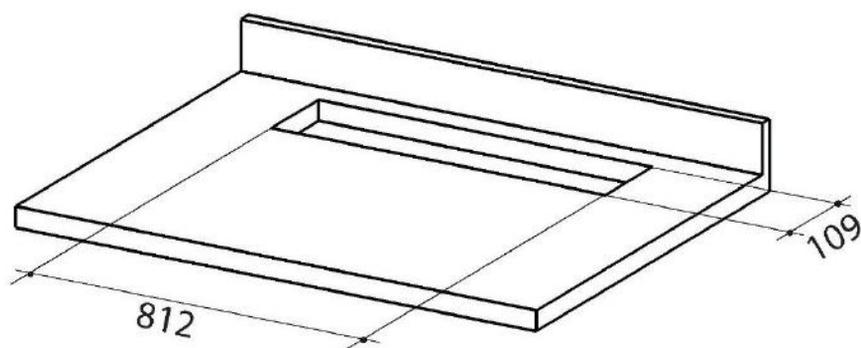
施工

施工の流れ

- ・ 支持面への穴加工とフードの固定
- ・ 配線の接続
- ・ 動作確認
- ・ 梱包材の処分



支持面への穴加工



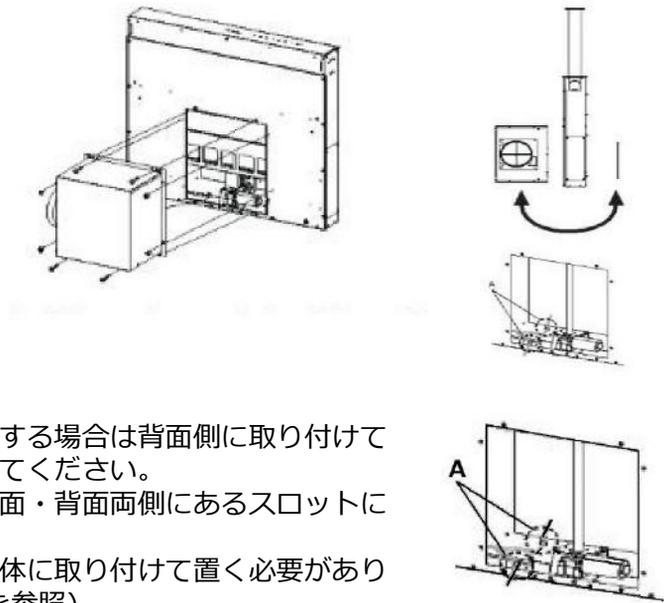
◆◆重要◆◆

フード用の開口と調理機器用の開口はワークトップの素材の強度に応じて最低でも3~5cmの離隔距離を確保してください。

施工

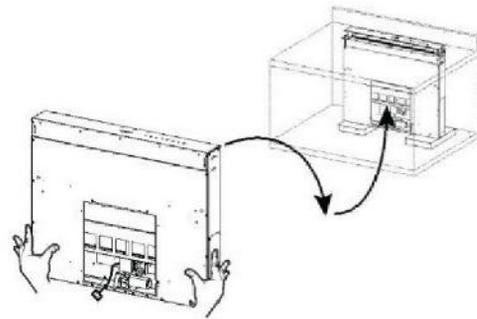
フードを支持面下部より差し込み設置する場合

フード本体は最初、フード前面側(調理機器の下)にモーターユニットを配置する仕様になっています。

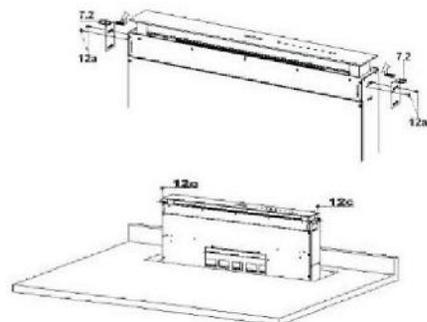


フード背面側にモーターユニットを配置する場合は背面側に取り付けてあるプラグをフード前面側に取り直ししてください。
また、配線と配線の軌道輪についても前面・背面両側にあるスロットに取り直ししてください。(右図A)
施工を進める前にモーターユニットを本体に取り付けて置く必要があります。(モーターユニットの取付けの項を参照)

フード本体をワークトップ開口部に下部より差し込んでください。
その際、フード上端がワークトップの上部に飛び出るように支えを置いてください。



上部サイドブラケット(Ref.7.2)を図の通り取り付け、ビス3.5x9.5(Ref.12a)で固定してください。
フード本体の中心と調理機器の中心を合わせてください。
フード本体をビス 4x15(Ref.12c)で固定してください。



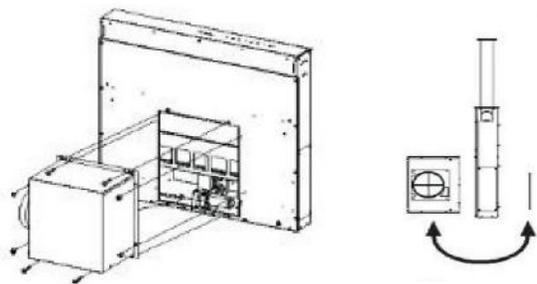
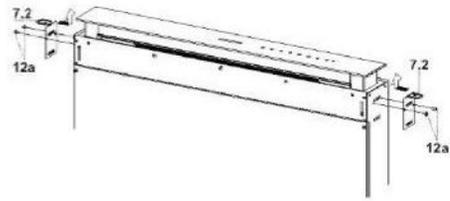
◇注意

ワークトップの材質がビス 4x15(Ref.12c)の固定にそぐわない場合は少量のシリコンで上部サイドブラケット(Ref.7.2)を接着し、完全に乾ききるまで施工は中断してください。

施工

フードを支持面上部より差し込み設置する場合

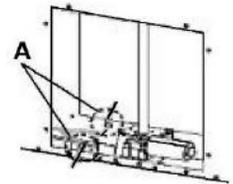
上部サイドブラケット(Rif.7.2)を図の通り取り付け、ビス3.5x9.5(Rif.12a)で固定してください。



フード本体は最初、フード前面側(調理機器の下)にモーターユニットを配置する仕様になっていますので、

フード背面側にモーターユニットを配置する場合は背面側に取り付けてあるプラグをフード前面側に取り直ししてください。

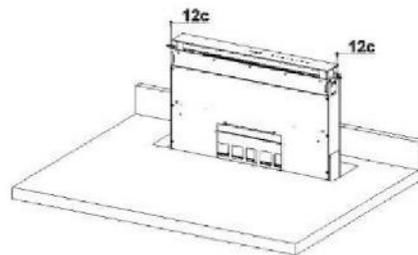
また、配線と配線の軌道輪についても前面・背面両側にあるスロットに取り直ししてください。(右図A)



フード本体をワークトップ開口部に上部より差し込んでください。

フード本体の中心と調理機器の中心を合わせてください。

フード本体をビス 4x15(Rif.12c)で固定してください。



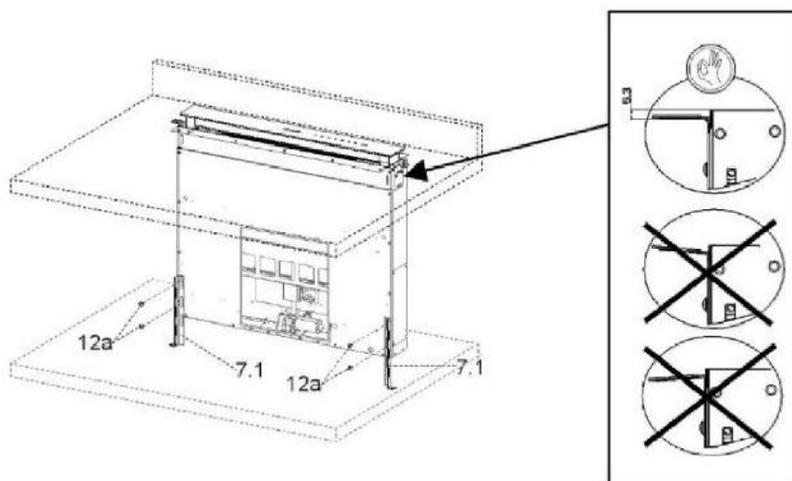
◆注意

ワークトップの材質がビス 4x15(Rif.12c)の固定にそぐわない場合は少量のシリコンで上部サイドブラケット(Rif.7.2)を接着し、完全に乾ききるまで施工は中断してください。

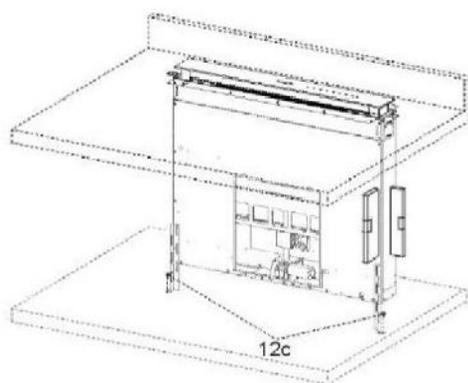
施工

下部ブラケット(Ref.7.1)の固定

ビス 3.5x9.5(Ref.12a)を用い、下部ブラケット(Ref.7.1)を本体に取り付けてください。
ビスを完全に締め込む前に下図のようにブラケットの角度が正しく出るように調整してください。
その後に増し締めを行ってください。



水平器を用い、フード本体のたてりを調整しビス 4x15(Ref.12c)で地板に固定して下さい。



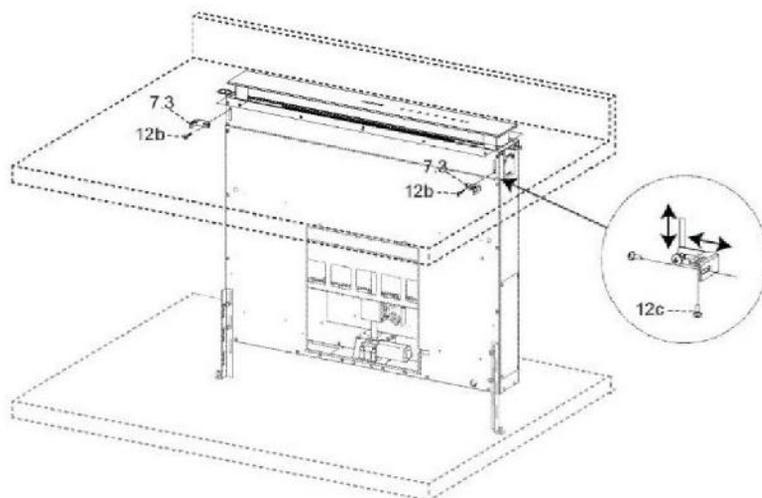
ビス 3.5x9.5(Ref.12a)をしっかりと最後まで締めてください。

施工

上部2次元ブラケット(Ref.7.3)の固定

上部2次元ブラケット(Ref.7.3)をビス M4x8(Ref.12b)で本体に取り付けてください。この際、完全に締め込まないでください。

ビス 4x15(Ref.12c)を用い、上部2次元ブラケットをユニットの側面もしくは調理機器の下端に固定して下さい。

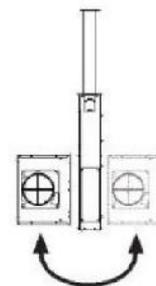


ビス M4x8(Ref.12b)とビス 4x15(Ref.12c)をしっかりと最後まで締めてください。

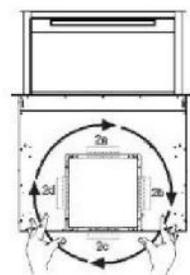
施工

モーターユニット (Ref.2)の取付け

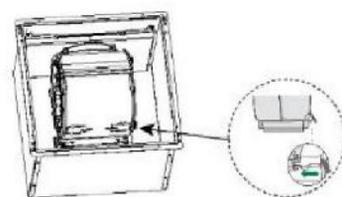
モーターユニットの取り付け位置はキッチンユニットの設計に依存します。
プラグが正しい位置に取り付けてあるかを確認してください。



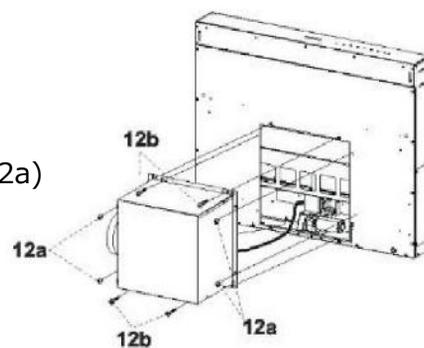
続いて、排気口の位置に応じてモーターユニットの排気口位置をユニットを回転させて調整してください。



フード本体から出ているコネクタをモーターユニットのコネクタに接続してください。



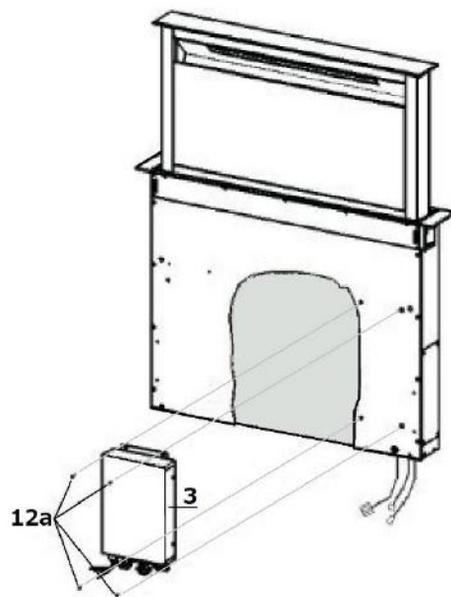
図のようにモーターユニットをフード本体にビス 3.5x9.5(Ref.12a) とビス M4x8(Ref.12b)を用い固定して下さい。



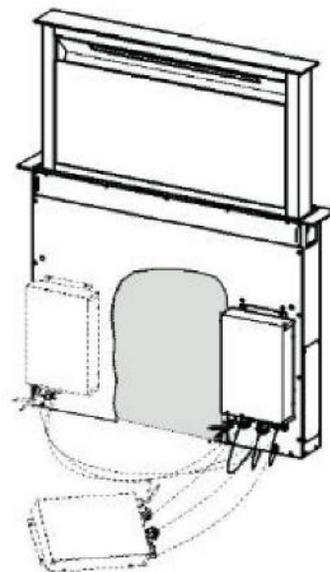
施工

電源基盤 (Ref.3)の取付け

本体右下より出ている配線を電源基盤に接続してください。
それぞれ間違ったコネクタに接続しないように注意してください。



ビス 3.5x9.5(Ref.12a)を用いて電源基盤をフード本体に取り付けてください。
右図の取り付け位置は一例です。必要に応じてフード本体の左側に取り付けたり、構造上、安全上問題ないと判断できる場合は地板に設置することも可能です。



◆警告◆

電源基盤やケーブルが床に接触するような施工は絶対にしないでください。

施工

ステンレス天板フレーム(Ref.4)の取り付け

電源に接続し、フードキャノピーを数センチ上昇させてください。(操作方法の項 p.16 を参照)
キャノピーの上昇を途中で止めるには上昇している時に天板を上から押しつけてください。

◆警告◆

ステンレス天板フレームを取り付ける時以外は決してキャノピーの動作を妨げるような使い方をしないでください。

養生用のスポンジを取り除いてください。

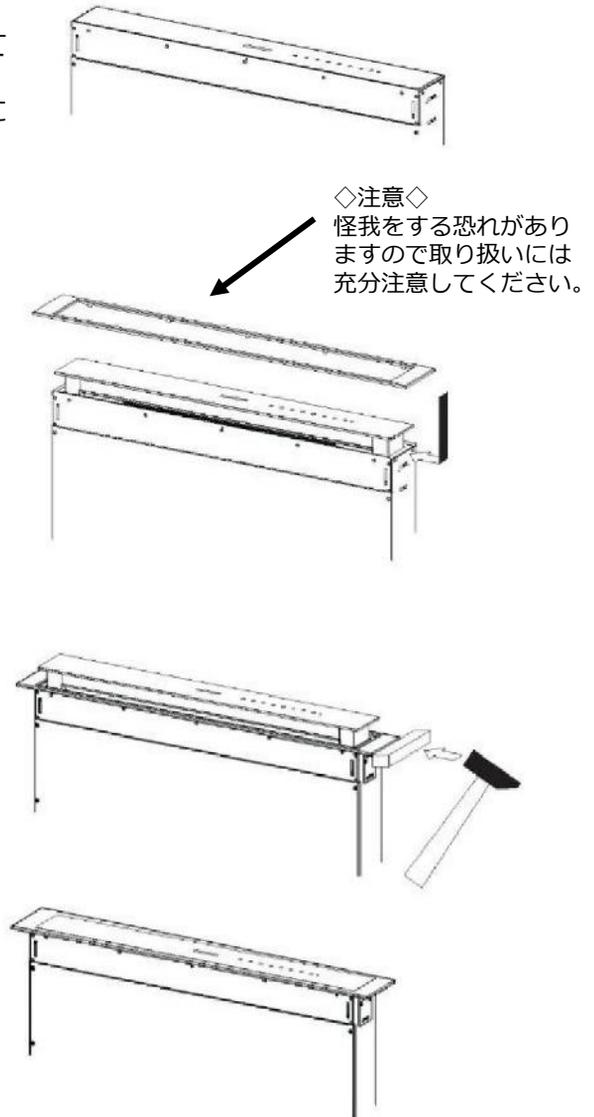
ステンレス天板フレームを嵌め、フレームのツメをフード本体に空いている穴に入れ、左側にスライドさせてください。

◇注意◇

この時、すべてのツメがフード本体の穴に差し込まれているか確認してください。

ハンマーなどを使い、フレームのツメが完全に嵌りきるまで右から左へと叩いてください。
この時、フレームが変形しないようにフレームとハンマーの間に木材などを用いて養生するようにしてください。

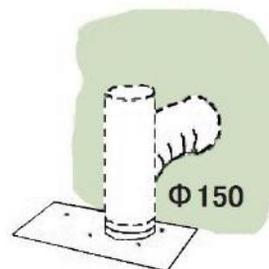
操作方法の項 p.16 を参照しキャノピーを格納してください。



施工

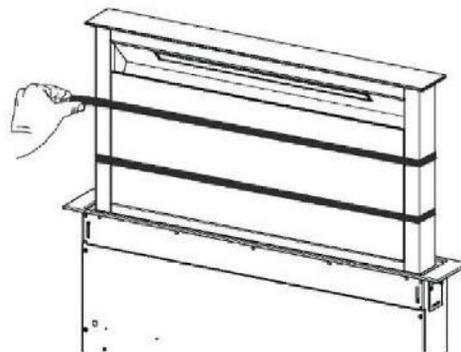
ダクトの接続

排気ダクトにはΦ150mmのものをご使用ください。

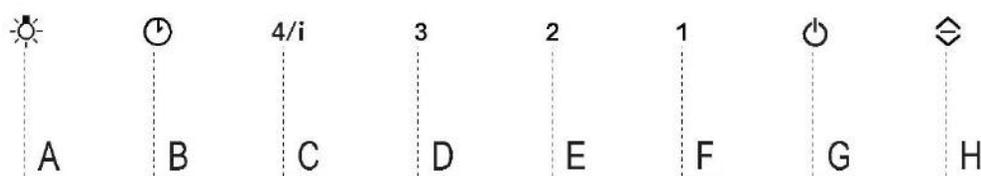


ガラス整流板

キャノピーを上昇させ、粘着テープを取り除いてください。



操作方法



ボタン	機能	LEDライトボタンの反応及び状態	
A	通常押し	キャンピー上昇時 ライトのON/OFF	
	2秒長押し	コートジエライトのON/OFF	
B	通常押し	キャンピー上昇時 OFFタイマーの設定(30分後にライト、モーターの両方が切れます。すでにOFFタイマーにしてある場合であってもボタンを押した時点より30分後にタイマーが作動します。)	
	2秒長押し	常時	ファンがオフでBボタンのみが点灯している場合
		フィルターアラームのリセット 本機能はモーターがOFFの時のみ使用可能です。	フィルターアラームが起動しています。グリースフィルターの洗浄を行ってください。 Bボタンが点滅している場合 チャコールフィルターアラームが起動しています。 ※フィルターの洗浄及び交換を行っても本アラームは左記の操作を行うまで解除されません。
		キャンピーが格納され、かつモーターとライトがOFF時	全てのボタンが2回明滅 ロック中はボタンが順番に点灯
4秒長押し	ボタンロックのON/OFF		
C	通常押し	キャンピー上昇時のみ スピード4	
	2秒長押し	キャンピー上昇時のみ インテンシブモード(すでにインテンシブモードであってもボタンが押された時点より10分後に設定されたファンスピードに復帰します。) 解除する時はファンをOFFにするか、フードを格納してください。	
			Cボタンが点滅
D	通常押し	キャンピー上昇時 スピード3	
E	通常押し	キャンピー上昇時 スピード2	
F	通常押し	キャンピー上昇時 スピード1	
G	通常押し	キャンピー上昇時 ファン停止	
H	通常押し	キャンピー上昇時 キャンピー格納+ファン・ライトOFF	
	通常押し	キャンピー格納時 キャンピー上昇+ファン・ライトON	
	※注意	何らかの理由でフードが不完全に上昇したままになっている場合は完全に格納若しくは上昇きるまでボタンを任意の回数押してください。	

メンテナンス

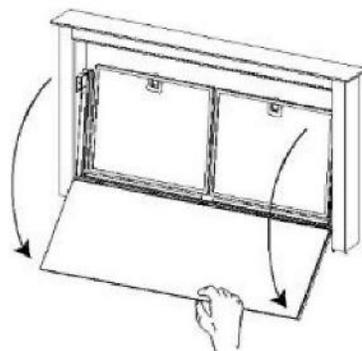
ガラス整流板のお手入れの仕方

ガラス整流板の上部を引き開けてください。フックを外しキャノピーから整流板を取り外してください。

自動食器洗い機でガラス整流板を洗わないでください。

よく絞った布と中性洗剤で外側と内側を拭き上げてください。水浸しの布やスポンジを使用しないでください。研磨剤を使用しないでください。

ガラス整流板にフックを掛け、閉じてください。



グリースフィルターのお手入れの仕方

グリースフィルターは自動食器洗い機で洗って頂けます。ボタンBが点灯した場合や2ヵ月を目安に、インテンシブモードを多く使用する場合はより短期間の内に洗浄してください。



フィルターアラームのリセット

- ・ライトとモーターの両方をOFFにしてください。
- ・ボタンBを約2秒間長押ししてください。

グリースフィルターの洗浄

- ・キャノピーを上昇させてください。
- ・ガラス整流板を取り外して下さい。
- ・グリースフィルターを1枚ずつ取り外します。
フィルターをフード背面に軽く押し付けながらつまみを押し下げ、手前に引くと取り外せます。
- ・洗浄の際はフィルターを曲げないでください。
- ・また、苛性ソーダや苛性カリ、その他アルカリ成分を含む洗剤は使用しないでください。
腐食や変色の原因となります。
- ・フィルターは完全に乾かしてから取り付けてください。
- ・経年によりフィルターが変色することがありますが機能には全く問題ありません。
- ・つまみが手前にくることを確認し、取り付けてください。
- ・ガラス整流板を閉じてください。

LEDランプの交換について

お買い上げの販売店にご連絡ください。